





地域のみなさまと共に、 さまざまな活動に取り組んでおります。

2021年度上半期の地域貢献活動&トピックス



岡山県プロフェッショナル 人材戦略拠点との 「プロフェッショナル 人材紹介サービス」 紹介取次業務の開始

事業者の成長戦略を具現化するプロ フェッショナル人材を紹介することで、 人材にかかる課題を解決し、事業価値 向上ひいては地域経済の活性化の一 助に資することを目的として開始いた しました。

SDGs寄付型私募債の引受けに伴う寄贈

今年度上半期は、当金庫および私募債発行4社様と連名にて、小学校や図書館などに書籍、パソコンなどを寄贈いたしました。「SDGs寄付型私募債」は、 SDGs (国連が提唱する持続可能な開発目標)の趣旨に賛同いただき、貢献をしたいという優良企業様が発行するもので、手数料の一部を、SDGsの取組 みをおこなう団体・企業様へ寄付するものであります。







事業再構築補助金相談会

事業再構築補助金の申請を検討されている事業 者様を対象に4月21日から5月18日の間に、相談 会を6会場で12回開催し、51先の事業者様から 相談をいただきました。また、7月15日から8月4 日の間にも6会場で12回開催し、25先の事業者 様から相談をいただきました。

事業再構築補助金の申請手続きに関しましては、 41先のお手伝いをいたしました。

当金庫は、コロナ禍において新たな事業への転換 を模索している事業者様に寄り添い、適切な助言 と支援を継続してまいります。











エコペイバッグコンテスト

当金庫の取引先でつくる若手経営者の会「おかやまPRODUCE」、岡山県、岡山市、信金中央金庫岡山支 店、県内4大学による連携組織「SDGsに基づく地域創生支援事業推進実行委員会」が、環境意識の向上な どを目的として、地域の方々に、家庭等で不要になった布の端切れなどを使ってエコバッグをお作りいただ き、デザイン性などを基準にコンテストをおこなう「エコペイバッグコンテスト」を企画いたしました。県内 外から621点の応募をいただき、最優秀SDGs賞2点など入賞129点を決定し、入賞作品はコンテストの 特設サイトで紹介いたしました。また、応募された方に1,000円相当のクオカードを贈呈しましたが、カード 受取りに代えて、社会貢献活動への活用を希望された方のカード代金と、おかやまPRODUCE会員の寄付 を合わせた10万円を、経済的に苦しい子育て家庭の支援に役立てていただくため、一般社団法人北長瀬 エリアマネジメント様に贈呈いたしました。

「信用金庫の日」

6月7日~6月15日の間、「信用金庫の 日」の清掃活動として、職員336人が勤 務する店舗周辺の清掃活動を実施いた しました。



「おかやましんきん地域活性化支援制度 "エリアサポート"」説明会の開催

創業支援として岡山市などと共同運営している"ももたろうスタートアッ プカフェ(通称:ももスタ)"において、「おかやましんきん地域活性化支援 制度"エリアサポート"」の説明会を、会場とオンライン配信のハイブリッ ドで開催いたしました。

特殊詐欺被害防止による表彰

特殊詐欺被害を未然に防いだとして、平井支店およびコンプライアンス 部の職員各1名が、岡山中央警察署ならびに同署管内金融機関防犯協 議会より表彰されました。





損益の状況(単体)

業務純益 837百万円

(前年同期比253百万円増加)



経常利益

902百万円 (前年同期比190百万円増加)



実質業務純益 837百万円

(前年同期比253百万円増加)



当期純利益 684百万円

(前年同期比71百万円増加)



(単位:百万円)

コア業務純益 631百万円

(前年同期比250百万円増加)



		(: : : = : : : : : : : : : : : : : : :
	2020年9月期	2021年9月期
業務純益	583	837
実質業務純益	583	837
コア業務純益	381	631
経 常 利 益	711	902
当期純利益	612	684
	012	004

- ※ 当金庫は、コア業務純益に「投資信託解約損益」を含めてい ないため、「コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)」は「コ ア業務純益しる問額となります。
- ※「コア業務純益」とは、「業務純益」から一般貸倒引当金繰入 額や国債等の債券売却損益等の影響を除いた、信用金庫の 基本となる事業活動から得られる利益を表す指標です。

自己資本比率と自己資本の額(単体・国内基準)





自己資本比率は、金融機関の健全性を表す指標のひとつ で、国内のみで業務をおこなう金融機関は4.00%以上が 必要とされております。

当金庫の2021年9月末の自己資本比率は10.57%であり、 「経営体質が健全で問題がない金融機関」に該当します。

(注)「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基 づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資 本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金 融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採 用しております。

預金積金・貸出金等の状況(単体)

>> 預金積金残高/うち個人預金

地域のお客様の生涯価値の向上に貢献できるよう、新商品 の開発やライフステージに合った提案をはじめとした金融 サービスの一層の充実を図り、今後も皆様から信頼される 業務運営をおこなってまいります。



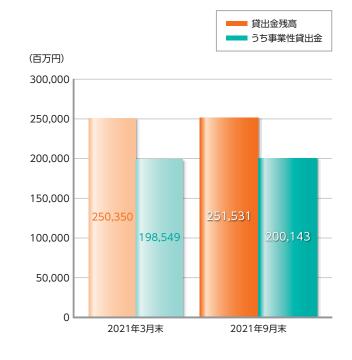
>> 預かり資産残高

多彩なニーズにお応えするため、市場・経済動向などに 関する情報提供をおこなうとともに資産運用相談業務に 積極的に取り組んでおります。

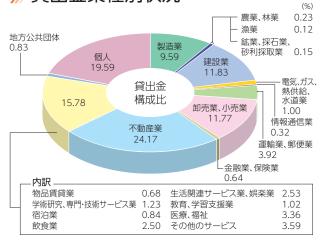


》貸出金残高/うち事業性貸出金

協同組織金融機関の恒久的な使命として、会員事業者様 の事業価値の向上に資するため、事業性融資推進に取り 組みました。今後も、地域密着型金融の推進こそが、当金 庫の存在意義であるという認識のもと、付加価値営業を 中心とする「バリューアップ型金融モデル」を継続的に実 践してまいります。



》貸出金業種別状況



			(単位:百万円)
	貸出金残高		貸出金残高
製造業	24,130	物品賃貸業	1,721
農業、林業	600	学術研究、専門・技術サービス業	3,102
漁業	317	宿泊業	2,123
鉱業、採石業、砂利採取業	385	飲食業	6,287
建設業	29,756	生活関連サービス業、娯楽業	6,381
電気、ガス、熱供給、水道業	2,516	教育、学習支援業	2,580
情報通信業	821	医療、福祉	8,462
運輸業、郵便業	9,861	その他のサービス	9,040
卸売業、小売業	29,624	小計	200,143
金融業、保険業	1,618	地方公共団体	2,100
不動産業	60,811	個人	49,287
		合計	251,531

(注)業種区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を 十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受け た際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者 保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経 営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載 内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	2021年度上半期
新規に無保証で融資した件数	872件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	34.40%
保証契約を解除した件数	76件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件

金融再生法に基づく開示債権の状況

>>> 金融再生法開示債権

		(単位:百万円)
区 分	2021年3月末	2021年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,320	3,014
危険債権	9,937	10,509
要管理債権	664	588
正常債権	242,510	243,614
 合計	256,432	257,726

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続 開始、再生手続開始の申立てなどの事由により経営破綻に陥っている債 務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
 - 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態 および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の 受取りができない可能性の高い債権です。
 - 3. 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に 該当する貸出金をいいます。
 - 4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債 権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理 債権」以外の債権をいいます。

>> 不良債権比率

(単位:%)

2021年3月末	2021年9月末
5.42	5.47

>>> 金融再生法開示債権保全状況

金融再生法上の不良債権の91%は担保や保証、貸倒引当金 によりカバーされております。金融再生法上の不良債権はそ の全てが回収不能になる訳ではありませんが、特別積立金 239億円などもあり、不良債権に対する備えは万全です。

(単位:百万円)

区 分	2021年3月末	2021年9月末
金融再生法上の不良債権(A)	13,922	14,111
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,320	3,014
危険債権	9,937	10,509
要管理債権	664	588
保全額(B)	12,752	12,950
貸倒引当金(注)(C)	2,761	2,718
担保·保証等(D)	9,990	10,231
保全率(B)/(A)	91.60%	91.77%
担保・保証等控除後債権に対する 引当率(C)/((A)-(D))	70.25%	70.08%

(注) 貸倒引当金は個別貸倒引当金および要管理債権に対して計上している一般 貸倒引当金の合計額です。

有価証券の時価情報

2021年9月末の評価差額・含み損益は、マーケット指標が前期末比横ばいで推移したことにより、微増となりました。

(単位:百万斤						
2021年3月末						
	Π±/ ፲	57/平光宛				
	時価 評価差額		うち益	うち損		
その他有価証券	185,972	1,963	2,484	521		
株式	411	27	30	3		
債券	136,451	298	758	460		
その他	49,109	1,637	1,695	57		
外国証券	44,140	467	525	57		

単	位	:百	万	F

				(+1111-11111111111111111111111111111111
	貸借対照 会 2 提 2			
	表計上額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	991	63	63	_
子会社・子法人等株式 および関連法人等株式	10	_	_	_

				(単位:百万円)			
2021年9月末							
	1.4. 京水平学館					n+/TT	
	時価	評価差額	うち益	うち損			
その他有価証券	212,559	2,242	2,559	316			
株式	463	38	43	4			
債券	161,771	642	867	224			
その他	50,323	1,561	1,648	87			
外国証券	44,999	380	460	80			

(単位:百万円)

	2021年9月末				
	貸借対照	含み損益			
	表計上額	占の独無	うち益	うち損	
満期保有目的の債券	930	56	56	_	
子会社・子法人等株式 および関連法人等株式	10	_	_	_	

(注) 2021年9月末の「評価差額」および「含み損益」は2021年9月時点の貸借対照表 計上額(償却原価法適用後)と時価との差額を計上しております。

自己資本の充実の状況等

》自己資本の充実度に関する事項

(単位:百万円)

	2021年	3月末	2021年9月末	
	リスク・アセット等	所要自己資本の額	リスク・アセット等	所要自己資本の
イ. 信用リスク	265,251	10,610	273,115	10,924
(1)標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	254,897	10,195	263,083	10,523
①外国の中央政府及び中央銀行向け	612	24	360	14
②外国の中央政府等以外の公共部門向け	1,058	42	1,059	42
③我が国の政府関係機関向け	156	6	542	21
④金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	31,361	1,254	26,540	1,061
⑤法人等向け	70,302	2,812	74,896	2,995
⑥中小企業等向け及び個人向け	47,373	1,894	47,115	1,884
⑦抵当権付住宅ローン	7,632	305	7,552	302
⑧不動産取得等事業向け	63,177	2,527	62,602	2,504
⑨三月以上延滞等	313	12	284	11
⑩取立未済手形	22	0	26	1
⑪信用保証協会等による保証付	4,205	168	4,327	173
⑫出資等	887	35	1,072	42
③上記以外	27,793	1,111	36,701	1,468
他の金融機関等の対象資本調達手段のうち対象普通出資等及びその他 外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	14,351	574	23,622	944
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る 調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	2,390	95	2,390	95
上記以外のエクスポージャー	11,052	442	10,688	427
(2)証券化エクスポージャー	11,498	459	11,160	446
証券化(非STC要件適用分)	11,498	459	11,160	446
(3)リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	_	_	_	_
(4)経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	1,753	70	1,753	70
(5)他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る (5)経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△2,898	△115	△2,882	△115
(6)CVAリスク	_	_	_	_
(7)中央清算機関関連エクスポージャー	_	_	_	_
ロ. オペレーショナル・リスク	11,393	455	11,393	455
粗利益配分手法	11,393	455	11,393	455
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)		11,065		11,380

- (注) 1. 「所要自己資本の額」は、「リスク・アセット等×4%」で算出しております。
 - 2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)ならびにオフ・バランス取引および派生商品取引の与信相当額等のことです。
 - 3. 「三月以上延滞等」とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーおよび①から⑤においてリスク・ウェイト が150%になったエクスポージャーのことです。
 - 4. オペレーショナル・リスクは、粗利益配分手法を採用しております。

>級行勘定における金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

IRRBB1:金利リスク					
項番		1		/\	Ξ
		⊿EVE		⊿NII	
		2021年9月末	2021年3月末	2021年9月末	2021年3月末
1	上方パラレルシフト	4,225	3,081	729	369
2	下方パラレルシフト	_	_	977	937
3	スティープ化	4,196	3,248		
4	フ ラ ッ ト 化				
5	短期金利上昇				
6	短期金利低下				
7	最 大 値	4,225	3,248	977	937
		ホ		^	
		2021年9月末		2021年3月末	
8	自己資本の額	30,079		29,383	

当金庫の2021年9月期の⊿EVEの 最大値が自己資本の額に占める割合 は、14.047%であり、監督上の基準 値とされている20.000%以内で金 利リスク管理上、問題のない水準で あると認識しております。

(注)「∠EVE」とは、金利ショックに対する経済価値の 減少額、「ANII」とは、金利ショックに対する金利 収益の減少額のことです。



2020~2022年度中期経営計画

「おかやましんきんEmpathyプラン」

~Value Upの定着と深化に向けて~

当金庫は、2020年度からお客様との「共感(Empathy)」を中軸とした新中期経営計画「おかやましんきんEmpathyプラン」 をスタートさせました。

本計画では、お客様の立場に立ってお客様に「共感」することで課題を把握し、お客様に「共感」していただけるご提案に よってお客様の事業価値・生涯価値の向上を目指し、更にはそれを地域価値の向上に繋げ、地域の皆様からの「共感」を得 ることを目指してまいります。

本中期経営計画での取組み



お客様との共感 による課題把握

お客様に共感して いただけるご提案 お客様の事業価値 •生涯価値向上

[おかやま]の 地域価値向上

当金庫は、お客様の事業価値・生涯価値の向上、地域価値の向上の一部を収益として享受することにより、経営基盤を一層確固 たるものとし、お客様の課題解決に向けた取組みを深化させてまいります。

策 施

- |お客様・地域に「共感」し、「共感」していただける取組みの推進
 - ➤ 事業先のお客様のビジョンの実現に向けた課題把握活動の推進
 - ➤ 個人のお客様の夢の実現に向けた適切な資産・負債構成、ライフプラン提案の推進
 - ➤ 本部業務の見直し ~営業店に「共感」し、営業店の課題に寄り添う本部~
 - ➤ SDGsに向けた取組みの推進

■経営資源の効率的な活用

- ➤ ゼロベースからの業務効率化 ~業務のスクラップアンドビルドの 推進・業務属人化の排除~
- ➤ コストマネジメントの強化
- ➤ 店舗網・各営業店の営業エリアの見直し
- ➤ リスクアペタイト・フレームワーク(RAF)の導入

■「共感力」「提案力」の高い人財の育成

- ➤ お客様の様々な課題に関する知識を備えた 人材の育成・活用
- ➤ 将来を見据えた人材ポートフォリオの構築、 人材採用
- ➤ 職員に求められる能力の可視化







